

令和6年度市民討議会提言内容の進捗状況一覧表 (令和6年度末現在)

討議テーマ2	あなたなら①のポイントをSNSでどう発信しますか？ ※①は多治見の好きなところ		
提言	現在、多治見市に関するSNSや情報源は多く存在していますが、その中から自分が求める情報を探し出すことが難しいため、情報を集約し、簡単にアクセスできる仕組みを望みます。		
詳細		進捗状況	関係部署
① 多治見市に関する様々な情報を一元化するプラットフォームの構築		現在、市が情報発信のツールとしている媒体（広報紙、SNS、アプリ等）の情報を集約するプラットフォームとして、ホームページリニューアルを検討しています。閲覧者が求める情報をホームページ上で探しやすくすることで、情報にアクセスしやすくすることを目標にしています。	秘書広報課
② 集約したプラットフォームへの入口として、手軽に掲示できる二次元コードの活用		広報紙には既に二次元コードを掲載し、ホームページ等の詳細情報にアクセスできるようにしています。今後もチラシや冊子などを作成する際は、二次元コードの周知も含め、積極的に二次元コードを活用します。	
③ うながっぱやAI市長などを活用した、親しみやすく分かりやすい情報の発信		市のインスタグラムでは「まちの魅力発信」をテーマにイベント情報などを発信しています。また、フェイスブックでは広報担当が取材した内容を中心に情報を発信しています。SNSでは写真を多く使用し、いわゆる「お役所言葉」にならないよう親しみやすい情報発信を心がけています。	
討議テーマ3	多治見市の既存のSNSを通じて、市民同士や市と市民の繋がりを深めたいと考えています。どのようにSNSを活用したらよいですか？		
提言	市が運営しているSNSは市からの一方通行となっているため、市民は市と双方向のコミュニケーションがとれるSNSを望みます。		
詳細		進捗状況	関係部署
① 市民が投稿した意見に対し、市が応答できる環境		現在市が運営しているSNSでは、原則、コメントに対して回答していません。これはあらゆるご意見に対する市の対応を統一するためです。別に、フォトコンテストやリポスト機能を利用し、市民の皆さまの投稿を紹介させていただいております。また、市政に対するご意見については、ホームページのお問い合わせフォームをご活用いただけます。今後は情報発信のみならず、コミュニケーションツールとして、SNSで市民の皆さまとどう繋がれるのかを研究していきます。	秘書広報課
② 市の担当者や市長に直接質問できるオンラインによる意見交換会		令和5年度から直接市長にご意見を伝える場として「市民と市長の意見交換会」を開催しています。また、地区懇談会、市長への提言、市民討議会などの広聴活動を行っております。SNSに限らずオンラインでの意見交換会は、個人情報の取り扱いやSNSの長所である即時性の担保が難しいため、現時点では実施していません。新しい広聴の在り方として、オンラインでの意見交換について今後研究していきます。	